

モニタリング結果報告書
(令和元年度)

資料1-1①

1. 施設概要

施設名	由比ガ浜地下駐車場		
所在地	鎌倉市由比ヶ浜四丁目1101番の2		
サイトURL	http://www.pref.kanagawa.jp/docs/n5h/cnt/f704/p1152357.html		
根拠条例	神奈川県道路付属物自動車駐車場条例		
設置目的(設置時期)	路上駐車減少に伴う安全な交通環境の向上を図る。(H13.6)		
指定管理者名	タイムズ24株式会社・タイムズサービス株式会社グループ		
指定期間	H31.4.1 ~ R6.3.31 (2019年) (2024年)	施設所管課 (事務所)	道路管理課 (藤沢土木事務所)

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>駐車場管理運営における豊富な経験と業務ノウハウを活かし、提案に基づき積極的に各種事業を実施している。また、グループの2社が協力することで相乗効果を発揮しており、事業計画に対する取組は良好である。「利用状況」の評価はB、「利用者の満足度」の評価はS、「収支状況」の評価はCとなり、令和元年度の3項目評価はBとなった。</p> <p>引き続き、利用者の声を積極的に取り入れるなど、利用者ニーズに即応した施設運営を継続していく。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>(管理運営状況) 提案に基づき、満空情報のHPでの提供や駐車場料金精算の電子化、付加価値サービスを提供する駐車場オンラインサービスの導入、開場時間の延長など、利用促進の効果的な事業を実施したが、昨年度に比べ利用台数は減少した。</p> <p>また、維持管理業務においても清掃・巡回、専門業者による設備点検の実施に加え、利用者の怪我や事故防止を図るため、適正な指導を実施することで、利用者が安全でかつ安心して利用できる環境整備に注力するなど、利用者ニーズに即応した施設運営を行い、事業計画書の内容どおりの取組を実施している。</p> <p>(利用状況) 周辺タイムズ駐車場との連携を始め、専用ホームページ等での広報や利用者サービスに積極的に取り組んだが、夏季の天候不順等の影響もあり、目標値に対して8%のマイナスであるためB評価とした。</p> <p>(利用者の満足度) 年2回(8、11月)調査を実施し、満足度の上位2段階の回答割合が約97%となったことからS評価とした。</p> <p>(収支状況) 節電など経費節減に努め支出抑制を図っているが、他方、収入面において天候不順等の影響により、夏期の収入が減少し、収支比率(収入決算/支出決算)で約22%のマイナスとなったためC評価とした。</p> <p>(苦情・要望) 開場時間外の出庫希望などに関する苦情があったが、積極的に把握・対応しサービス向上に努めた。</p> <p>(事故・不祥事等) 特になし。</p> <p>(労働環境の確保に係る取組状況) 労働基準法に基づき適切に対応している。</p>	
3項目評価	S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう
B	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	特になし
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	月2回程度	特になし
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有 <input checked="" type="radio"/> 無	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
I Tを活用し事前に駐車場の状況を把握できる情報発信を継続する。	由比ガ浜地下駐車場専用HPである「Parking Information」に満空情報・地図を配信継続している。また、バス予約システムを構築し、利用者の満足度を上げた。	提案の効果が認められた。
I Tを利用し付加価値サービスを提供する駐車場オンラインサービスを継続している。	駐車場オンラインサービスを継続運用し、料金決済の電子化やポイントサービスなど付加価値サービスを提供している。	提案の効果が認められた。
イベント等に合わせ、開場時間延長を実施する。	年末年始、シルバーウィーク等に開場時間を延長し対応した。	提案の効果が認められた。
事故防止等安全管理	月1回ミーティングを実施し現場危険箇所把握に努める。	提案の効果が認められた。
遠隔ゲート操作を実施することにより、トラブルの早期解決に努める。	コンタクトセンターを活用し24時間体制で遠隔操作システムを運用している。	提案の効果が認められた。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
自動販売機の設置	施設内に自動販売機を設置

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。
B	

	前々年度	前年度	令和元年度
利用台数※	62,255	60,685	57,806
対前年度比		97.5%	—
目標値	67,100	67,100	62,820
目標達成率	92.8%	90.4%	92.0%

目標値の設定根拠： 事業計画書による

利用者数の算出方法（対象）： 自動精算機によるカウント

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 駐車場であるため

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
C	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算		85,166			85,166	85,166	0	
	決算		74,632			74,632	82,550	-7,918	90.41%
前年度	当初予算		85,166			85,166	85,166	0	
	決算		73,784			73,784	84,656	-10,872	87.16%
令和元年度	当初予算		79,546			79,546	79,546	0	
	決算		66,078			66,078	84,803	-18,725	77.92%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和元年度 / 20,928 前年度 / 20,572 前々年度 / 20,572

<備考>

